

# 小学生と考える 「北斗市のまちづくり」

第2回

市民協働のまちづくりを進めていくためには、多様化する行政課題を市民のみならずと共有し、地域の特性を活かした地域住民による主体的活動が大変重要だ。広報ほくとでは、次代を担う子どもたちが市民に身近な社会問題や行政課題に関する理解を深め、「わたしたちにもできること」という視点で解決策を話し合い、考えていただいた内容を連載し、市民のみならずと一緒にまちづくりを考えていきたいと思っています。

## 第2回 大野小学校 児童会のみなさん

### 考えてもらった地域課題

北斗市の魅力を発信しよう！

市では、豊かな自然や暮らしやすい生活環境、教育や福祉など行政サービスの充実性といった北斗市の魅力や優位性を市内・市外に発信し、企業誘致や観光振興、移住促進、ふるさと納税などの個別施策において、北斗市が「選ばれれる」ための認知度や魅力度、地域イメージの向上を目指し、「市民総ぐるみによるシティプロモーション」を展開しています。

市の魅力の発信は、行政だけでなく、市民総ぐるみで実施すること、より高い効果が得られるとともに、市民が誇りに思えるまちづくりにつながります。

今回は、地域資源や市民生活における今の北斗市の魅力はどんなところか、また、その魅力を一人でも多くの人に知ってもらったための発信方法について、子どもたちの視点で考えてもらいました。

まず子どもたちには、「北斗市のいいところ」について、家族や友達と相談してあらかじめ考えてもらい、また「それらをたくさんの人に知ってもらおうことでどんな効果があるか」を考えてもらいました。

### 北斗市の魅力「暮らしやすさ」

- ・子どもの医療費が高校生まで無料
- ・学校給食費が第2子半額、第3子無料
- ・放課後児童クラブを1か月1,000円で利用できる
- ・南渡島ファミリーサポートセンターで1時間500円で託児を利用できる
- ・北斗市では農業が盛んなので新鮮な野菜が食べられる
- ・お米のふっくらんこがおいしい
- ・公園などがいっぱいあって子どもが住みやすいまちだと思っ
- ・冬場狭い道まで除雪してくれる(除雪が行き届いている)
- ・個人経営のお店が多く、そうしたお店では店主とたくさん話ができるし、地域のつながりが形成されやすい

### 音楽のまち・ほくと

市では、「音楽のまち・ほくと」を掲げたシティプロモーションを実施しています



市民の音楽活動に関するドキュメンタリー番組を制作し全道で放送するとともに、番組のDVDをふるさと納税の返礼品にすることで、全国の方に発信しふるさと納税での寄附というかたちで「音楽のまち・ほくと」の取組に協力をいただいています

吹奏楽や合唱など子どもから大人まで音楽活動が盛ん。

### 北斗市の魅力「観光」

海産物も農産物も豊富な地域なので、観光客に満足してもらえ。北斗市は自然が豊かなので、春の

### 北斗市のいいところが広がる とどんな効果があるか

- ・北斗市を訪れる人が増えて、飲食やお土産、宿泊などの消費が増え、景気が良くなる
- ・景気が良くなると税収が増えるので、税金の使い道を福祉に使えるようになる
- ・ほかの地域に住んでいる人が、北斗市に住みたいと移住してきて、人口増加につながる
- ・いろいろなところから人が来ると人と人との交流が増えて、心が豊かになる

### 市民による魅力の発信

市では、シティプロモーションの取組みを「HOPSTAR Project」と銘打ち、宿泊業や飲食業、お土産などの物販店、交通事業者など、市外から訪れる方々の多くが利用するサービス事業者との協働により、シティプロモーションを推進しています



### 自分でもできる魅力の発信

最後に、今の北斗市の魅力を発信するため、自分たちにどんなことができるかを考えてもらいました。

- ・市内の小学校みんな、身近な環境などのまちのプチ自慢をして、学校のホームページに掲載する
- ・学習発表会でずーしーほつきーについて調べれば地域の勉強になるし、観覧者にも知ってもらえる
- ・修学旅行で行った地域で、北斗市を紹介するパンフレットを配ったり、特産品を紹介して、北斗市をPRする
- ・市外の親戚の家へのお土産などに、北斗市でつくられているお土産を買うようにする
- ・桜や紅葉など、北斗市のきれいな景色の写真を貼った絵はがきを市外の友達や親戚に送る
- ・北斗市にある、例えばきじひき高原などの大自然を散策できるコースを考えて、訪れる人に紹介する
- ・「グルメだよー全員集合！」のように新しいイベントを企画する
- ・北斗市をPRする動画をつかって、北海道国際交流センター(HIF)のインスタグラムを通して世界に発信する

### 高校生による魅力発信

大野農業高校と函館水産高校では、実習で収穫、製造した製品をふるさと納税返礼品に登録することで全国のみなさんに届けました。返礼品のPRにあたっては、市と協働でPR動画を制作しYouTubeで発信しました



### ずーしーほつきーをもっと活用

- ・ずーしーほつきーのダンスをつくる
- ・SNSで発信する
- ・ずーしーほつきーの相棒をつくる
- ・一緒にイベントをやる
- ・ずーしーほつきーの遊具で遊べる展示館をつくる
- ・道南圏のゆるキャラを集めてスポーツ大会を開催する

### 北斗市の自然を生かして

例えば、夏なら「マリーゴールドの湯」のように、北斗市の「市の花」を利



### 用了温泉イベントを実施する。

#### あとがき

普段、当たり前前に生活していて、しっかりと考える機会が少ない北斗市のいいところをあらためて見つけなおし、こうした魅力や優位性を全国に発信することによってもたらされる効果や可能性に気付いた大野小学校児童会のみなさん。

北斗市の暮らしやすい生活環境や豊富な観光資源、思いやりがあり温かい住民気質などを広くPRすることで、北斗市に行ってみたい、暮らしてみたいと感じてくれる人が一人でも増えたらという「目標を見つけた子どもたちは「わたしたちにもできる」取組みや斬新なアイデアを積極的に話し合ってくれました。

少子高齢化と人口減少が進行する中、持続可能なまちづくりを進めていくため、次代を担う子どもたちがふるさとを想い、地域の将来を考え、行動を起こしてくれる姿を多くの市民のみなさんと共有することにより、「市民総ぐるみによるシティプロモーションの展開」がさらに広がるよう取り組んでまいります。

(企画課長 楠川 修)



桜回廊や秋の紅葉回廊などのイベントで自然の美しさを楽しめる。新幹線で東北・東京までの主要都市とのアクセスが良く、観光客が訪れやすい。今後札幌まで延伸するとますます交通の便が良くなる。